



亀中だより

No. 17 令和5年6月23日 文責 岡田

For The Students!



男子剣道部三重県制覇！ 女子も3位入賞！

6月10日、四日市市総合体育館において、「令和5年度第39回鳳凰旗争奪三重県中学校剣道優勝大会」が開催されました。男女そろって団体戦に出場した亀山中学校剣道部は、熱戦を勝ち上がり、男子が見事優勝を飾り、女子も3位入賞を果たしました。団体競技では、一昨年の女子バレー部、今年一月のサッカー部に続くうれしい知らせとなりました。剣道部は、昨年夏も男子が県大会3位、女子が県大会ベスト8に進出し、東海大会へも出場するなど、活躍を重ねてきました。そして今回、悲願の県大会制覇を果たしました。日ごろから男女で活動をしている剣道部、男子の快挙とともに女子の健闘も光りました。

またこの大会の個人戦でも、男子の櫻井竜規さんが優勝、女子の小菌舞波さんが3位に入る活躍もありました。個人として、団体として、切磋琢磨しながら、力をつけてきた剣道部のみなさんです。これからの活躍にも期待しています。おめでとうございます！



玄関に飾られた優勝旗です。大切に。



文化庁芸術祭賞大賞受賞！

亀山中 OB 林家菊丸さんにご来校いただきました！



6月12日、本校卒業生である三代目林家菊丸さんにご来校いただき、全校で古典落語「時うどん」を聞かせていただきました。菊丸さんは、昨年度第77回文化庁芸術祭賞大賞を受賞された亀山市の文化大使でもある文化芸術のトップランナーです。軽快なお話しのほか、質問コーナーもありました。笑いの中にも、仕事は何があっても途中で投げ出さないこと、いろいろな苦労もあるけど、結局自分のところに返ってくることだから、お客さんを大切に仕事されていることなど、ご自身の経験もまじえて、生徒へのメッセージが込められた貴重な時間をいただきました。菊丸さん、ありがとうございました！

「分別がんばったんだけど燃やすしかないゴミ」

見出しの「分別がんばったんだけど燃やすしかないゴミ」という言葉を聞いたことはありますか。これは、先月徳島市が変更を発表した「燃やせるゴミ」の新しい名称です。徳島市は、市民の分別意識の向上とごみの減量化・資源の再利用化の促進を目指しており、その具体的な活動のひとつとなっているようです。同市では、「燃やせるゴミ」として捨てられるものの中にまだ再利用できる資源として紙ごみが多く含まれており、それらの削減を目的として今回の名称変更を行ったとのこと。

学校だより No. 15 では、今年のテーマ「プラスチック汚染の解決策」である「世界環境デー」についてお話しました。身近で自分にもできる環境への取り組みとして、すぐに思いつくのが、ごみの分別です。缶、ビン、ペットボトルなどをはじめ、様々なごみの分別が自治体ごとに決められています。

亀山市には「燃やせるゴミ」「燃えるゴミ」などの表現は見られません。長さ50cm以下の溶融する（溶かす）ゴミとして「一般ごみ」と呼んでいます。また、新聞、ダンボールだけでなく、雑誌、パンフレットなどは「雑がみ」と呼ばれて可燃系資源ごみとして、分別回収の対象です。

燃えるから「燃やせるごみ」と安易に考えてしまうのではなく、もう一段階考えて、資源ごみとなるものを分別し、それでもダメそうなものを「燃やせるごみ」として出すことが、「分別がんばったんだけど燃やすしかないゴミ」の発想です。地域は違いますが、考え方は参考にして、日常を送っていききたいものですね。